

BMWをもっと快適に!

Expand



AT-VDM1H

本体価格 ¥35,200(税込)

HDMIの映像に約0.4秒の遅延を掛け音声を早めるユニットです。

第7世代iDriveシステムにUSB経由で音声入力する場合、ヘッドユニットの特性で再生される音声が約0.4秒遅れます。

HDMIの映像に約0.4秒の遅延を掛け音声を早めるユニットです。

第7世代iDriveシステムにUSB経由で音声入力する場合、ヘッドユニットの特性で再生される音声が約0.4秒遅れます。この遅延に対して映像に遅延を掛ける事で映像と音声の同期を合わせる為の製品です。

● 当製品について

BMWの第7世代iDriveではヘッドユニットがMGUといわれるユニットになりました。

純正モニターへ外部AV機器の映像を映すにはAVインターフェイスを取り付ける事で可能となります。

AVインターフェイスは映像をコントロールする機器で音声に関しては別経路で純正オーディオに入力する必要があります。

しかし第7世代iDriveではリアルタイムな音声を入力出来るAUX端子がありませんので、音声入力はFM経由かUSB経由となります。

FM経由は古くから有るFMトランスミッター方式の為簡単ですが、場所により混信などが発生する可能性が有る為安定した再生などは望めません。

USB経由での再生は新しい方式ですが、本来のUSBメモリなどのデータ再生とかとは異なり、リアルタイムに音声をデジタル変換して

ヘッドユニットへ送るリアルタイムオーディオ技術を使用しています。

BMWの第6世代までのヘッドユニットでは問題無かったのですが第7世代iDriveシステムではヘッドユニット内部処理の関係か

約0.4秒の遅延が発生するようになりました……

つまりそのまま後付けのAV機器で動画を再生すると映像より音声が約0.4秒遅れるというスリが発生します。

音声再生の遅延は外部側から早める事は出来ませんので、逆に映像を遅らせて音声の遅延に同期させるようにするのが当ユニットです。

約0.4秒の遅延なので、ジッターと画面を注視しなければそれほど気になるスリでは無いのですが、完璧を求めるならば当製品を使用して同期を合わせる事が出来ます。

0.4秒遅れで再生されていますので操作を伴うゲーム映像などには使用できません。

当製品ではHDMI信号は720pをサポートします。

入力されるHDMI機器は720pの出力に対応している必要があります。また出力も720pでの出力となります。

製品仕様

本体サイズ	100mm × 62mm × 22mm(突起部含まず)
本体重量	180g
消費電力	約5.0W(基本動作時) 0.01W以下(スリープ待機時)
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C
保証期間	製品出荷日より3年間

製品付属品

- AT-VDM1H本体
- 電源ハーネス
- 取り扱い説明書
- 保証書

販売代理店

artack
assist your comfortable BMW life

開発/製造 **株式会社エイタック**
〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町558 1
TEL.045-595-1730 FAX.045-595-1733
URL : <http://www.a-tack.net/>